

参考資料

令和8年1月6日
徳島市消防局

令和7年における徳島市の火災・救急概要（令和6年との比較）

【火災について】

出火件数は80件（対前年比 同件数）となっております。
なお、焼損面積は減少し、損害額も減少していますが、その他の火災が増加しています。
また、火災による死者数は増加し、負傷者数は減少しています。

【救急について】

出動件数は14,747件（対前年比70件減、0.5%減）、搬送人員は12,904人（対前年比143人減、1.1%減）となっています。

◎ 出火件数は80件、対前年比 同件数

出火件数は80件となり、前年に比べると、同件数となっています。これは約4.6日に1件の割合で火災が発生したことになります。

◎ 焼損床面積 752m² 前年より減少

損害額 40,832千円 前年より減少

建物の焼損床面積は752m²となり、前年に比べると、829m²減少しています。

損害額は、40,832千円となり、前年に比べると、94,009千円の減少となっています。

なお、調査中の火災は除いています。

◎ 出火原因の第1位は「たばこ」及び「たき火」

出火原因別にみると、「たばこ」が11件（対前年比4件減）、「たき火」が11件（対前年比2件増）となっています。

◎ 火災による死者は4人、対前年比1人増加、負傷者は11人、対前年比2人減少

死者は4人（対前年比1人増）で、すべて住宅火災で発生しております。

負傷者は11人（対前年比2人減）となっています。

★ 救急出動件数及び搬送人員は減少

救急出動件数は14,747件、搬送人員は12,904人となり、前年に比べると、出動件数は70件の減少、搬送人員は143人の減少となっています。

1日の平均出動件数は約40件であり、これは約36分に1回の割合で出動したことになります。

なお、これまでの救急出動最多件数は、令和6年の14,817件で、搬送人員は13,047人でした。

★ 事故種別出動件数

事故種別の内訳をみると「急病」9,379件（構成比：63.6%）、「一般負傷」2,287件（構成比：15.5%）、「転院搬送」1,493件（構成比10.1%）となっています。